



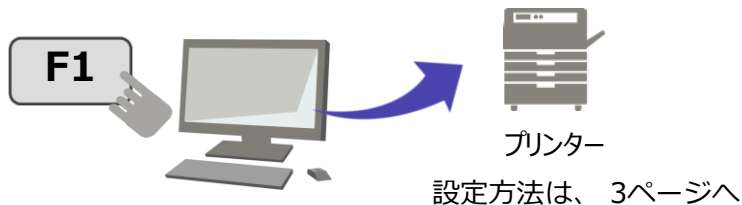
INSTANTCOPYに慣れてきたら、よく使用するINSTANTCOPYの操作を「任意のキー」に割り当てることで、効率よくキャプチャーできます。

## キーアサイン機能の概要

よく使う「キャプチャー対象」や「出力先」などを、任意のキーに割り当てることのできる機能です。この機能を使うことで、各種画面キャプチャーをワンタッチで実行できます。設定例を、2パターン紹介しています。

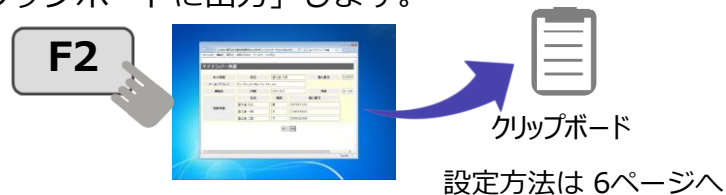
### - 例1 -

「キーアサイン設定」にあらかじめ用意された機能に任意のキーを割り当てて利用する方法。  
例として、「F1」キーで「プリンターに直接出力」します。



### - 例2 -

「取得対象」と「出力先」の組み合わせを設定ファイルに保存し、任意のキーを割り当てて利用する方法。  
※設定ファイルは10個まで設定できます。  
例として、「F2」キーで「アクティブウィンドウをクリップボードに出力」します。



## キーアサイン機能の設定方法 (補足説明)

設定例を、2パターン紹介しています。

### - 例1 -

設定方法は、3ページへ

「キーアサイン設定」にあらかじめ用意された以下の機能に任意のキーを割り当てて利用する方法。

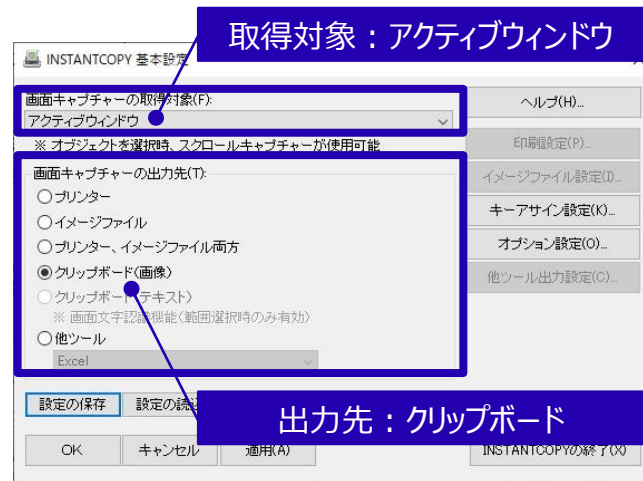
画面キャプチャーをとる  
印刷プレビューを開く  
印刷を実行する  
設定画面を開く  
画面キャプチャーを削除する  
カラー反転出力で画面キャプチャーをとる  
白黒二階調で画面キャプチャーをとる  
マウスカーソルを含めて画面キャプチャーをとる  
デスクトップ全体の画面キャプチャーをとる  
アクティブウィンドウの画面キャプチャーをとる  
アクティブウィンドウ(タイトル、枠なし)の画面キャプチャーをとる  
マウスで選択した範囲の画面キャプチャーをとる  
オブジェクトの画面キャプチャーをとる  
プリンターに出力する  
イメージファイルに出力する  
プリンター、イメージファイル両方に出力する  
クリップボード(画像)に出力する  
クリップボード(テキスト)に出力する  
他ツール出力を実行する  
INSTANTCOPYを終了する

### - 例2 -

設定方法は、6ページへ

「取得対象」と「出力先」の組み合わせを設定ファイルに保存し、任意のキーを割り当てて利用する方法。

※設定ファイルは10個まで設定できます。

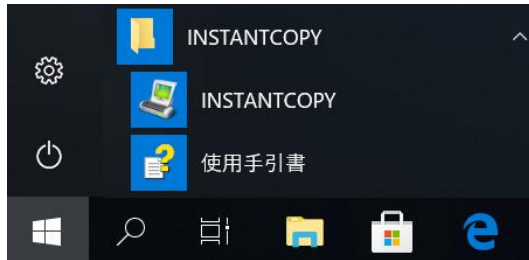


## キーアサイン機能の設定方法 - 例1-

「F1」キーに『プリンターに出力する』機能を割り当てる設定方法をご紹介します。

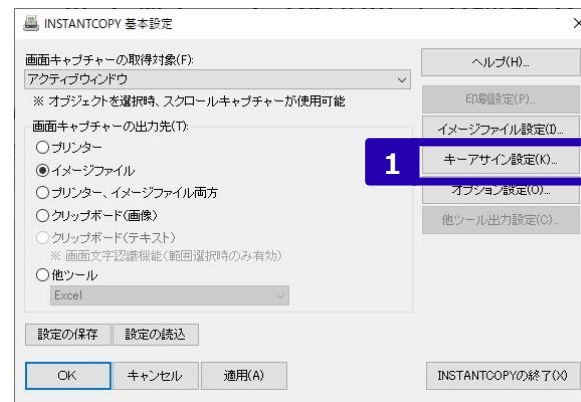
### - 例1 -

(1) デスクトップ左下のスタートメニューからINSTANTCOPYをクリックします。



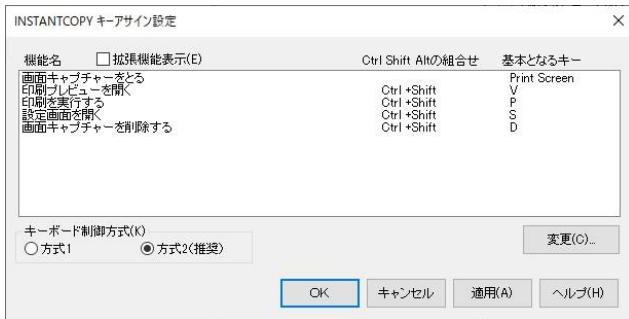
(2) 基本設定画面が開きます。

**1** 「キーアサイン設定」ボタンをクリックします。

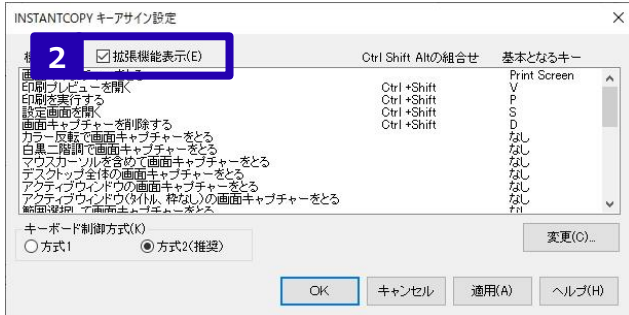


# キーアサイン機能で、操作をカンタンに (4/9)

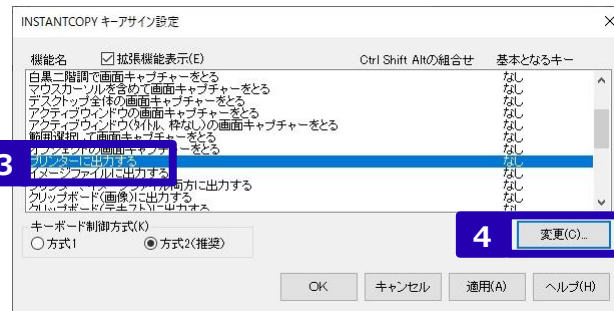
- (3) キーアサイン設定画面が開き、現在設定されているキー割り当ての一覧が表示されます。



- (4) **2**「拡張機能表示」をチェックすると、INSTANTCOPYでキー割り当てのできる機能/設定が一覧に表示されます。



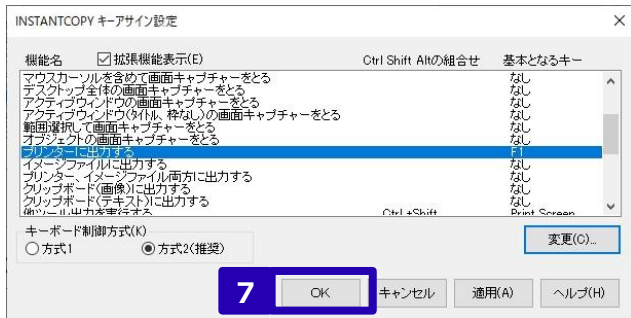
- (5) **3**「プリンターに出力する」を選択し、  
**4**「変更」ボタンをクリックします。



- (6) キー選択画面が開きます。  
**5**「F1」を選択します。  
**6**「OK」ボタンを押して、画面を閉じます。



(7) **7**「OK」ボタンを押して、キーアサイン設定画面を閉じます。

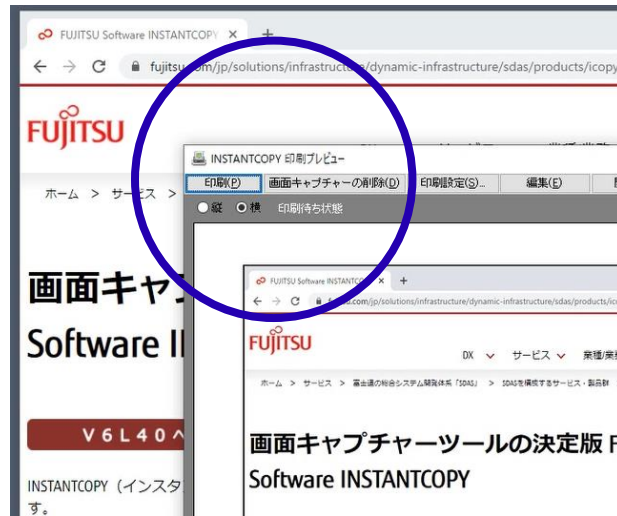


(8) **8**「OK」ボタンを押して、基本設定画面を閉じます。



## キーアサイン機能の利用イメージ

割り当てたキー (F1) を押すと、直接プリンターに出力されます。



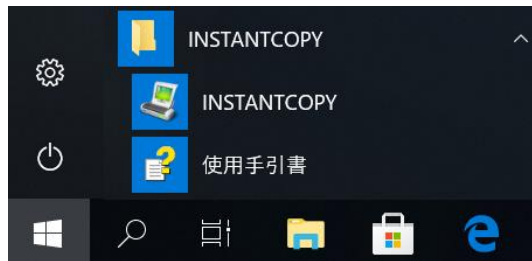
## キーサイン機能の設定方法 - 例2 -

「F2」キーに『アクティブウィンドウをクリップボードに出力する』機能を割り当てる設定方法をご紹介します。

取得対象

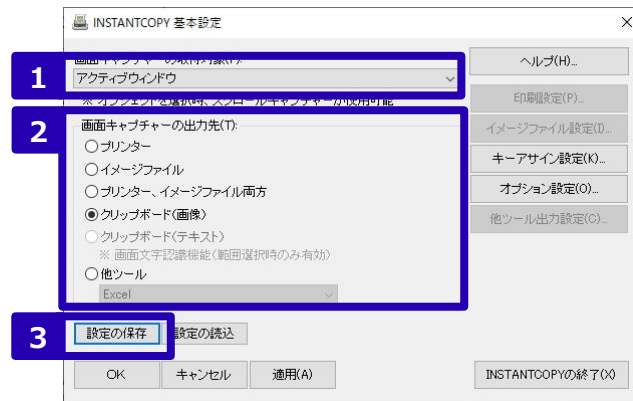
出力先

(1) デスクトップ左下のスタートメニューからINSTANTCOPYをクリックします。



(2) 基本設定画面が開きます。

- 1 「アクティブウィンドウ (取得対象)」を選択、
- 2 「クリップボード (出力先)」を選択し、
- 3 「設定の保存」ボタンをクリックします。

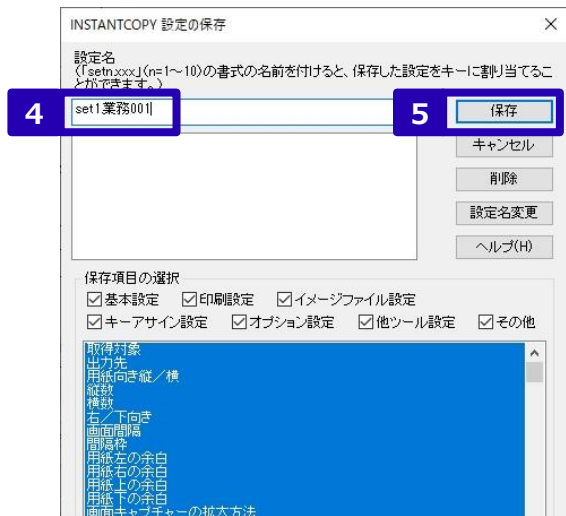


(3) (2)の操作に「設定名※」をつけます。

※設定名の書式 **set****n**.**xxx**  
1~10                      任意の文字列

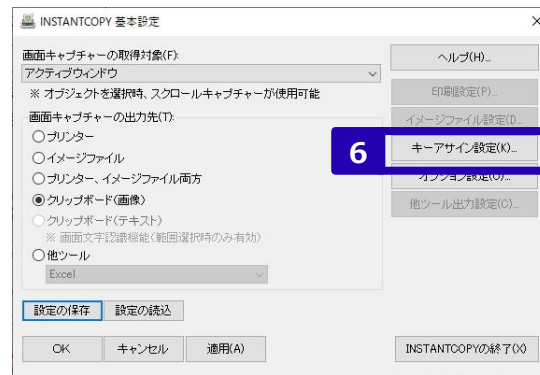
例として、設定名を「set1.業務001」とします。

- 4 設定名に「set1.業務001」と入力し、
- 5 「保存」ボタンをクリックします。

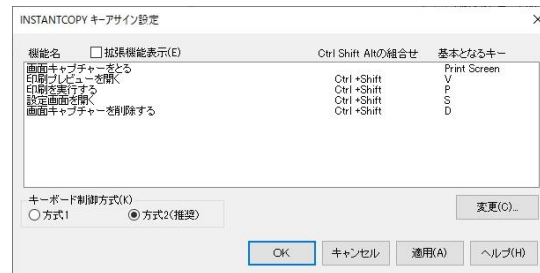


(4) 基本設定画面に戻ります。

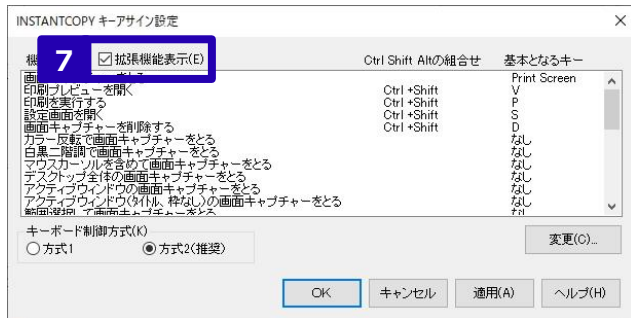
- 6 「キーアサイン設定」ボタンをクリックします。



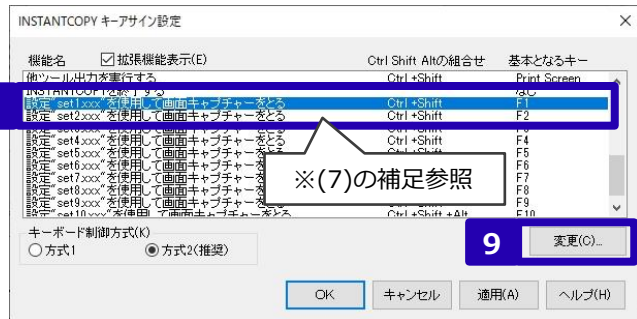
(5) キーアサイン設定画面が開きます。



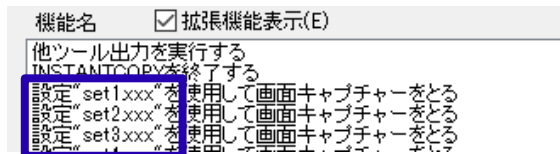
(6) **7** 「拡張機能表示」をチェックすると、INSTANTCOPYでキー割り当てのできる機能/設定が一覧に表示されます。



(7) **8** (3)の設定名 (set1.xxx) を選択し  
**9** 「変更」 ボタンをクリックします。



※(7) の補足

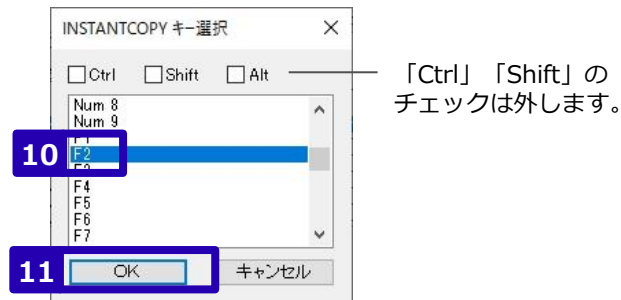


設定名は任意の文字列をつけますが、設定画面の表記は「setn.xxx」です。

(8) キー選択画面が開きます。

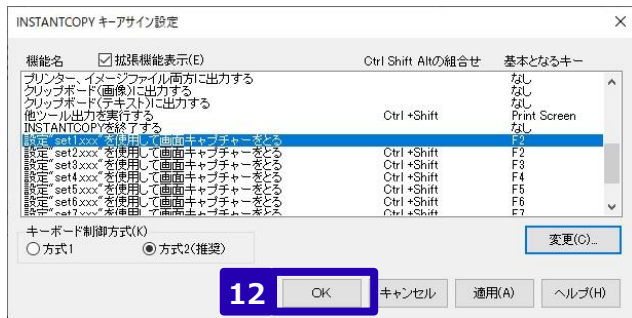
**10** 「F2」 を選択します。

**11** 「OK」 ボタンを押して、画面を閉じます。





(9) **12**「OK」ボタンを押して、キーアサイン設定画面を閉じます。

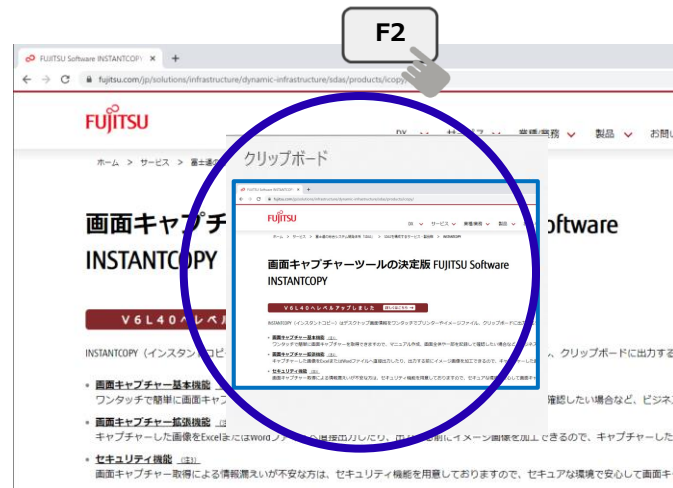


(10) **13**「OK」ボタンを押して、基本設定画面を閉じます。



## キーアサイン機能の利用イメージ

割り当てたキー (F2) を押すと、アクティブウィンドウがクリップボードに出力されます。



※クリップボードの内容について (補足:Windows 10 の場合)  
Officeソフトのクリップボードメニュー、もしくは、クリップボードの履歴を有効にしている場合は「Windowsキー+V」で確認できます。